第1学年 体育科学習指導案

1. 単元名 「うごきっこあそび みっけ!」(7時間単元)

2. 指導を進めるにあたっての基本的な考え方

こんな子どもを

- 入学してきてから子ども達は、固定施設を使っていろいろな遊びを見つけたり、ボールを使っているいろな動きをつくる運動遊びをしたりしている。その中で、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができている。
- アンケートの結果から、「体育を楽しい」と答えた子どもは94%で、ほとんどの子どもは体を動かすことを楽しいと感じている。その理由として、「できるようになるのがうれしいから」が最も多い。一方で、道具が上手く使えないからという理由で好きではないと答えている子どももいる。

こんな教材で

○ 本単元では、用具を操作したり、体のバランスをとったりする運動遊びを通して、基本的が動きを身につけることをねらいとしている。

そこでフラフープを使って、回す、投げる、転がす、 くぐるなどの動きで構成される運動遊びをすること によって、用具を操作して体を動かす楽しさを味わわ せたい。

また、Gボールは、大きさや柔らかさ、弾生が他のボールとは違うため、子ども違ことって魅力的であり、意欲的に取り組むことができると思われる。さらに、Gボールを使って、乗る、押すなどの動きをすることによって、はずむ感覚や揺れる感じを味わわせることができる。

このように、Gボールとフラフープを用いることは、いろいろな動きを行い、どの子でも自分なりの楽しみ方ができるという点で、子ども選こ有効であると考える。

こんな支援で

- つかも段階では、学習の流れや進め方が分かるような掲示物を提示する。用具の安全な使い方と約束を教える。
- きづく段階では、基本的な動きを経験させ、動きを見つけることで、たくさんの動きに触れさせるようにする。動きを見つける意欲を高めるために、子どもが見つけた動きを整理して掲示しておく。新しい動きを見つけたり、友だちのよさを見つけたりした児童を賞賛する。また、マットを敷くことで安全面に配慮するとともに、子どもの動きを広げられるようにする。
- ふかめる段階では、Gボールコーナーとフラフー プコーナーで、これまでに見つけた動きで遊ぶこと ができるようにする。
- ふりかえる段階では、ふり返る項目を挙げて、簡単に自己評価できるようにする。自分のみつけた動きに名前を付けることで、子ども自身がどんな動きをしたかはっきりと自覚でき、教師の見取りもしやすいようにする。

めざす子どもの姿

- 多様な動きに触れる喜びを感じながら運動遊びをしている子ども
- 遊び方が分かり、ルールを守って学習している子ども
- 誰とでも仲良く遊ぼうとしている子ども
- 意欲的に新しい動き見つけ・遊び見つけをしている子ども

3. 指導目標

指導目標

- 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動できるようにする。(態度)
- フラフープやGボールを使って、いろいろな動きを見つけることができるようにする。(思考・判断)
- フラフープやGボールを使った、いろいろな動きができるようにする。(技能)

4. 本時学習

- **(1) 本時** 6月16日 (木) 公開授業Ⅱ 運動場
- (2) 本時の目標
 - Gボールを使って、いろいろな動きを見つけることができるようにする。(技能)
 - 友だちとなかよく遊ぶことができるようにする。(態度)

(3) 準備

Gボール・<math>Gボール台: 2人に1個、マット: 班に1枚 発見した動きの紹介ボード、「学習の流れ」「やくそく」掲示物、ふりかえりノート

5. 展開(4/7)

| 5. 展開(4/7) | | | | | | | | | | |
|------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 段階 | 学習活動と内容 | 学習活動に即した支援 | | | | | | | | |
| つかむ | 1. 学習の準備をし、めあてを確認する。 安全に気をつけて場作りをする。 めあての確認をする。 めあて1 うごきっこをたくさんみつけてあそぼう | ※ 前時に見つけた動きを紹介することで、本時の自分のめあてを持つことができるようにする。 ※ 子どもが見つけた動きを広げる掲示物を提示する。 ※ 安全な活動ができるように注意をする。・マットを敷く。・G ボールに乗るときは、2人組みで活動し、1人が支えること。 | | | | | | | | |
| きづく・ふかめる | 2. G ボールを使ってできる動きを行ったり、新しい動きを見つけたりする。 3. 見つけた動きを出し合い、やってみる。 *********************************** | ※ マットを敷くことで、子どもの動きを広げられるようにする。 ※ 前時に見つけた動きをさせることで、新しい動きを見つけることにつなげる。 ※ 新しい動きを見つけようとしている子どもを賞賛する。 ※ 子どもが見つけた動きを広げる声かけをする。 ※ 動きが見つからない子どもには、他の子どもが見つけた動きを紹介する。 | | | | | | | | |
| ふりかえる | 4. 学習のまとめと後片付けをする。 ○ ふりかえりノートに記入する。 ○ 楽しかったことや見つけた動き,友だちのよさを発表し合う。 ○ 安全に気をつけて協力して後片付けをする。 | ※ 安全に気をつけてみんなで後片付けをするよう声かけをする。※ 役割についてはあらかじめ決めておく。 | | | | | | | | |

7. 学習と指導の計画

| 配時 | 1 | 2 | 3 | 4 (本時) | 5 | 6 | 7 |
|-------|--|--|--|---|---------------------------------------|--|---------------------|
| 段階 | つかむ | | きづく | | | ふかめる・ふりかえる | |
| | | | | | | | |
| | めあて 1 うごきっこを たくさんみつけて あそぼう | | | | めあて 2 みんなでみつけた うごきっこをつかって たのしくあそぼう | | |
| | ○ フラフープを使ったいろいろな動きを編動きを見つけることができる。○ 友だちとなかよく遊ぶことを楽しむ。 | ! | | ○ Gボールを使ったいろいろな動きを見つけることができる。○ 友だちとなかよく遊ぶことを楽しむ。 | | ○ フラフープやGボールでこれまでに見つけた動きでなかよく遊ぶことができる。○ 楽しかったことやできるようになったことなどをふりかえる。 | |
| つかむ | 1 学習の進め方を知り、見通しをもつ。<やくそく>・あんぜんなつかいかたをする。・みんなでじゅんびや あとかたづけをする。 | ○ 安全に気をつけて場作りをする。○ めあての確認をする。かんぜんなつかいかたをする。※学習の流れが分かる掲示物を提示する。 | | | | 1 学習の準備をし、めあてを確認する。 ○ 安全に気をつけて場作りをする。 ○ めあての確認をする。 ※学習の流れが分かる掲示物を提示する。 | |
| K / | ・グループでなかよくあそぶ。 | | | | | | |
| きづく | 2 学習のじゅんびをし,めあてを確認する。 ○ 安全に気をつけて場作りをする。 ※安全な場作りができているか確認してまわる。 ※グループで場作りをさせる。 ○ めあての確認をする。 | 2 フラフープを使ってできる動きを行ったり、新しい動きを見つけたりする。※前時に見つけた動きをさせることで、新しい動きを見つけることにつなげる。※つまずきを感じている子どもにアドバイスや励ましの声かけをする。 | ※つまずきを感じている子どもにアドバイスや励ましの声かけをする。※マットを敷くことで、子どもの動きを広げられるようにする。 | | | 2 これまでに見つけた動きをつかって遊ぶ。 ○ 自分のやりたいことを決め、フラフープコーナー・Gボールコーナーの場を選んで遊ぶ。 ※ つまずきを感じている子どもにアドバイスや励ましの声かけをする。 ○ どんな遊びをしたか出し合う。 ○ 次の場で遊ぶ。 | |
| ふかめる | 3 フラフープを使ってできる動きを行ったり、新しい動きを見つけたりする。※友だちと教えあったり、励まし合ったりしている子どもを賞賛する。 | 3 見つけた新しい動きを出し合い,やって みる。 子想される動き ころがす (べる こうがす | 3 見つけた新しい動き | <i>7</i> 5 | なげる | 子想される動き (0,11/2,13…) オンシャン (0, | ニーあそび、きょうそう 3 三分 |
| ふりかえる | 4 学習のまとめと後片付けをする。 ○ 安全に気をつけて協力して後片付けをする。 ○ ふりかえりノートに記入する。 ○ 楽しかったことや見つけた動きを発表し合う。 | 4 学習のまとめと後片付けをする。 ○ 安全に気をつけて協力して後片付けをする。 ○ ふりかえりノートに記入する。 ○ 楽しかったことや見つけた動きを発表し合う。 | | | | 3 学習のまとめと後片付けをする○ ふりかえりノートに記入する○ 楽しかったことを発表し合う○ 安全に気をつけて協力して後 | • |